

令和6年7月25日からの大雨による出水の概要
及び国管理河川の被害状況
《 8月20日 15時時点 》

秋田河川国道事務所

※本資料は東北地方整備局 河川部公表資料より抜粋

※数値は速報値ですので、今後の精査等により変更となる場合があります。

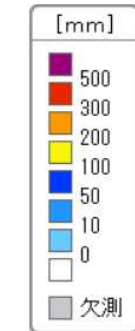
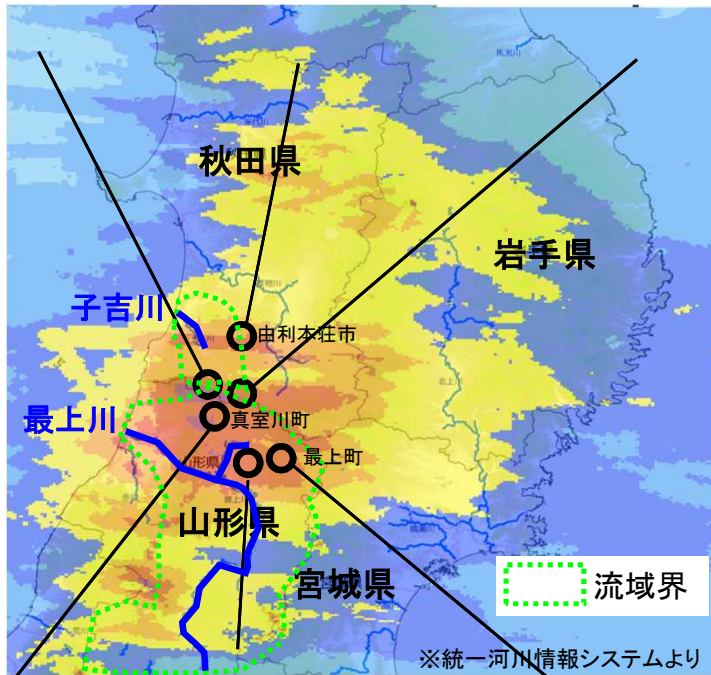
令和6年7月25日からの大雨による出水の概要

- 前線の影響により、秋田県と山形県を中心に記録的な大雨となり、**総雨量は多いところで500mmを超過**。多くの雨量観測所で観測史上1位や、7月1ヶ月分の平年値を上回る雨量を記録した。
- 秋田県や山形県では**記録的短時間大雨情報**が計5回発表されるとともに、山形県では**線状降水帯**が2回発生し、**大雨特別警報**が2回発表された。

レーダー雨量

(令和6年7月24日1時～7月27日1時まで:72時間)

おおしみず 大清水	559mm(国) (観測史上1位) ※7月の平年値196.5mm	ひがしゆり 東由利	275.0mm(气象台) (観測史上1位) ※7月の平年値214.8mm	じねご 笹子	250.0mm(气象台) (観測史上1位) ※7月の平年値214.8mm
--------------	--	--------------	--	-----------	--



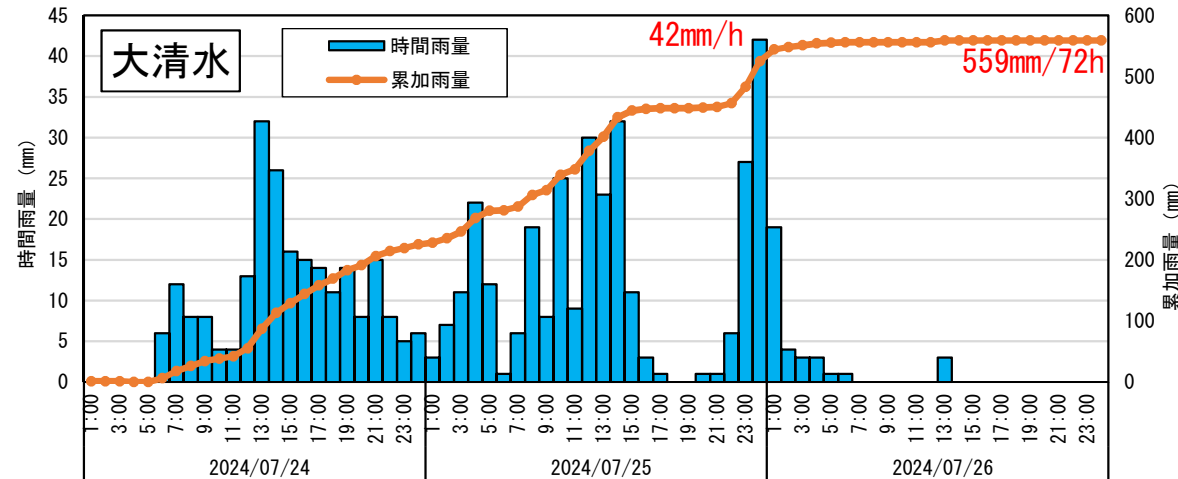
※観測史上1位を記録した観測所
〔气象台HPより〕
※旗揚げしている雨量は、降り始めからの総雨量(概ね72時間)
〔气象台HPより〕

※統一河川情報システムより

さすなべ 差首鍋	444.0mm(气象台) (観測史上1位) ※7月の平年値339.7mm	しんじょう 新庄	403.5mm(气象台) (観測史上1位) ※7月の平年値219.6mm	せみ 瀬見	400.0mm(气象台) (観測史上1位) ※7月の平年値241.6mm
-------------	--	-------------	--	----------	--

- ◆ 7月24日から7月27日にかけて断続的に強い雨が降り続き、**子吉川上流の大清水雨量観測所**では**総雨量559mm/72h**を記録。

大清水雨量観測所(秋田県由利本荘市)



- ◆ 記録的短時間大雨情報発表(計5回)
秋田県(北秋田市、上小阿仁村、五城目町)、山形県(遊佐町、酒田市)
- ◆ 線状降水帯発生(2回)
山形県(村山地域、庄内地域、最上地域)
- ◆ 大雨特別警報(2回)
山形県(酒田市、遊佐町、庄内町、新庄市、舟形町、鮭川村、戸沢村)

令和6年7月25日からの大雨による出水の概要

降雨状況

○ 10地点で72時間雨量が観測史上1位を記録。

◇新庄雨量観測所(山形県新庄市)	72時間雨量	403.5mm(1時間最大68.0mm)
◇東由利雨量観測所(秋田県由利本荘市)	72時間雨量	275.0mm(1時間最大55.0mm)
◇差首鍋雨量観測所(山形県最上郡真室川町)	72時間雨量	444.0mm(1時間最大60.0mm)
◇瀬見雨量観測所(山形県最上郡最上町)	72時間雨量	400.0mm(1時間最大58.0mm)
◇湯沢雨量観測所(秋田県湯沢市)	72時間雨量	250.0mm(1時間最大39.0mm)
◇向町雨量観測所(山形県最上郡最上町)	72時間雨量	337.0mm(1時間最大63.0mm)
◇東成瀬雨量観測所(秋田県雄勝郡東成瀬村)	72時間雨量	236.5mm(1時間最大25.0mm)
◇酒田雨量観測所(山形県酒田市)	72時間雨量	304.0mm(1時間最大71.0mm)
◇湯ノ岱雨量観測所(秋田県湯沢市)	72時間雨量	254.0mm(1時間最大22.0mm)
◇笹子雨量観測所(秋田県由利本荘市)	72時間雨量	250.0mm(1時間最大22.0mm)

ひかしゆり
○東由利雨量観測所 275.0mm
(72時間既往1位:205.0mm)
(7月平年値:196.5mm)

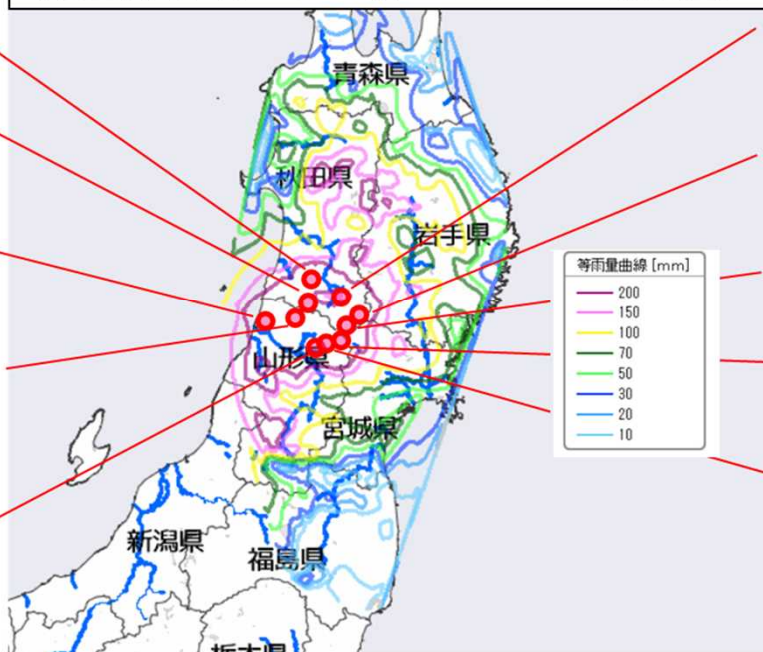
じねご
○笹子雨量観測所 250.0mm
(72時間既往1位:244.0mm)
(7月平年値:214.8mm)

さかた
○酒田雨量観測所 304.0mm
(72時間既往1位:256.0mm)
(7月平年値:218.7mm)

さすなべ
○差首鍋雨量観測所 444.0mm
(72時間既往1位:334.5mm)
(7月平年値:339.7mm)

しんじょう
○新庄雨量観測所 403.5mm
(72時間既往1位:268.5mm)
(7月平年値:219.6mm)

等雨量線図(7月24日~7月27日までの72時間雨量)



ゆざわ
○湯沢雨量観測所 250.0mm
(72時間既往1位:196.0mm)
(7月平年値:172.8mm)

ひかしなるせ
○東成瀬雨量観測所 236.5mm
(72時間既往1位:197.0mm)
(7月平年値:204.8mm)

ゆのたい
○湯ノ岱雨量観測所 254.0mm
(72時間既往1位:245.5mm)
(7月平年値:237.5mm)

むかいまち
○向町雨量観測所 337.0mm
(72時間既往1位:265.5mm)
(7月平年値:233.4mm)

せみ
○瀬見雨量観測所 400.0mm
(72時間既往1位:311.5mm)
(7月平年値:241.6mm)

[令和6年7月27日時点]

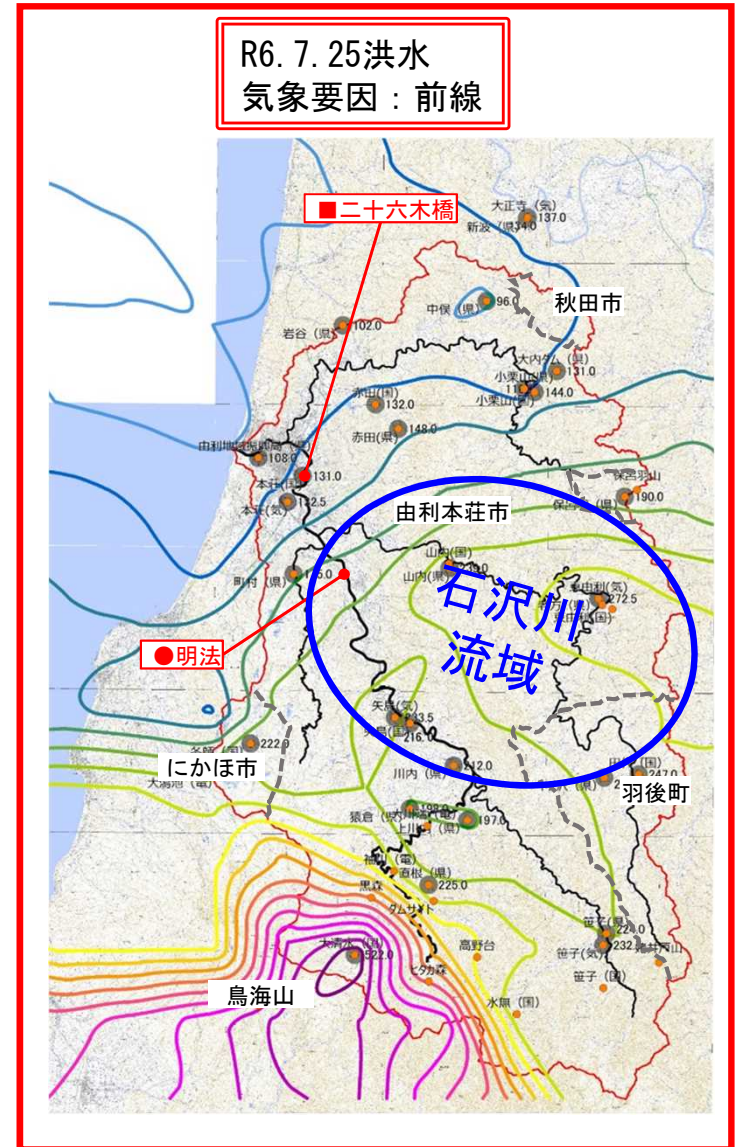
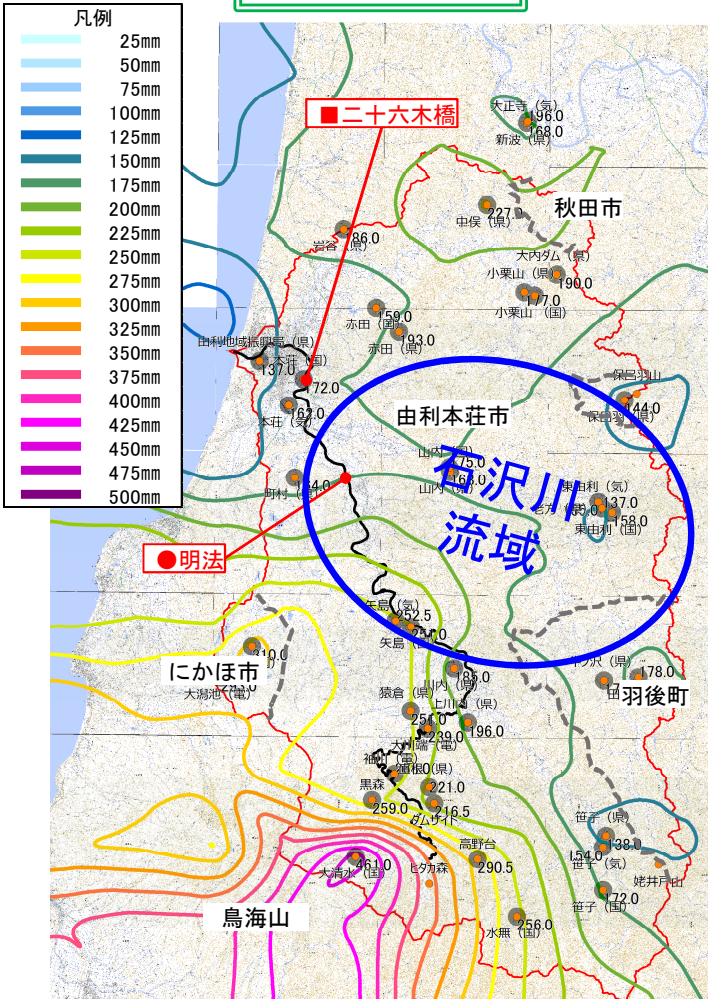
令和6年7月25日からの大雨と既往洪水との降雨分布比較

- 子吉川水系における近年の主要洪水の等雨量線図を整理。
- 今次洪水は鳥海山周辺だけでなく石沢川流域においても降雨が集中しているという特徴。

H23. 6. 24洪水
気象要因：前線

H25. 7. 12洪水
気象要因：前線

R6. 7. 25洪水
気象要因：前線



令和6年7月25日からの大雨による東北地方整備局管内の河川の状況

- 4水系6河川※で堤防決壊が発生。2水系4河川で氾濫発生。
- 1水系1河川で氾濫危険水位超過。2水系2河川で避難判断水位を超過。4水系9河川で氾濫注意水位を超過。

※堤防決壊には県管理区間4水系5河川を含む

凡 例	
— (赤)	レベル5 (氾濫発生)
— (紫)	レベル4 (氾濫危険水位超過)
— (緑)	レベル3 (避難判断水位超過)
— (青)	レベル2 (氾濫注意水位超過)
▲ (緑)	洪水調節実施ダム

1. 河川出水状況(直轄河川)

- **レベル5【氾濫発生】**
 - こよしがわ いしざわがわ
 - ・子吉川(子吉川、石沢川)
 - もがみがわ さきがわ
 - ・最上川(最上川、鮭川)
- **レベル4【氾濫危険水位超過】**
 - もがみがわ あいざわがわ
 - ・最上川(相沢川)
- **レベル3【避難判断水位超過】**
 - おものがわ かなやまがわ
 - ・雄物川(雄物川)、最上川(金山川)
- **レベル2【氾濫注意水位超過】**
 - もがみがわ きょうでんがわ まむろがわ もがみおぐにがわ
 - ・最上川(京田川、真室川、最上小国川)
 - あかがわ
 - ・赤川(赤川)
 - きたかみがわ えあいがわ
 - ・北上川(北上川、旧北上川、江合川)
 - よねしろがわ おさるべがわ
 - ・米代川(米代川、小猿部川)

2. ダム洪水調節状況

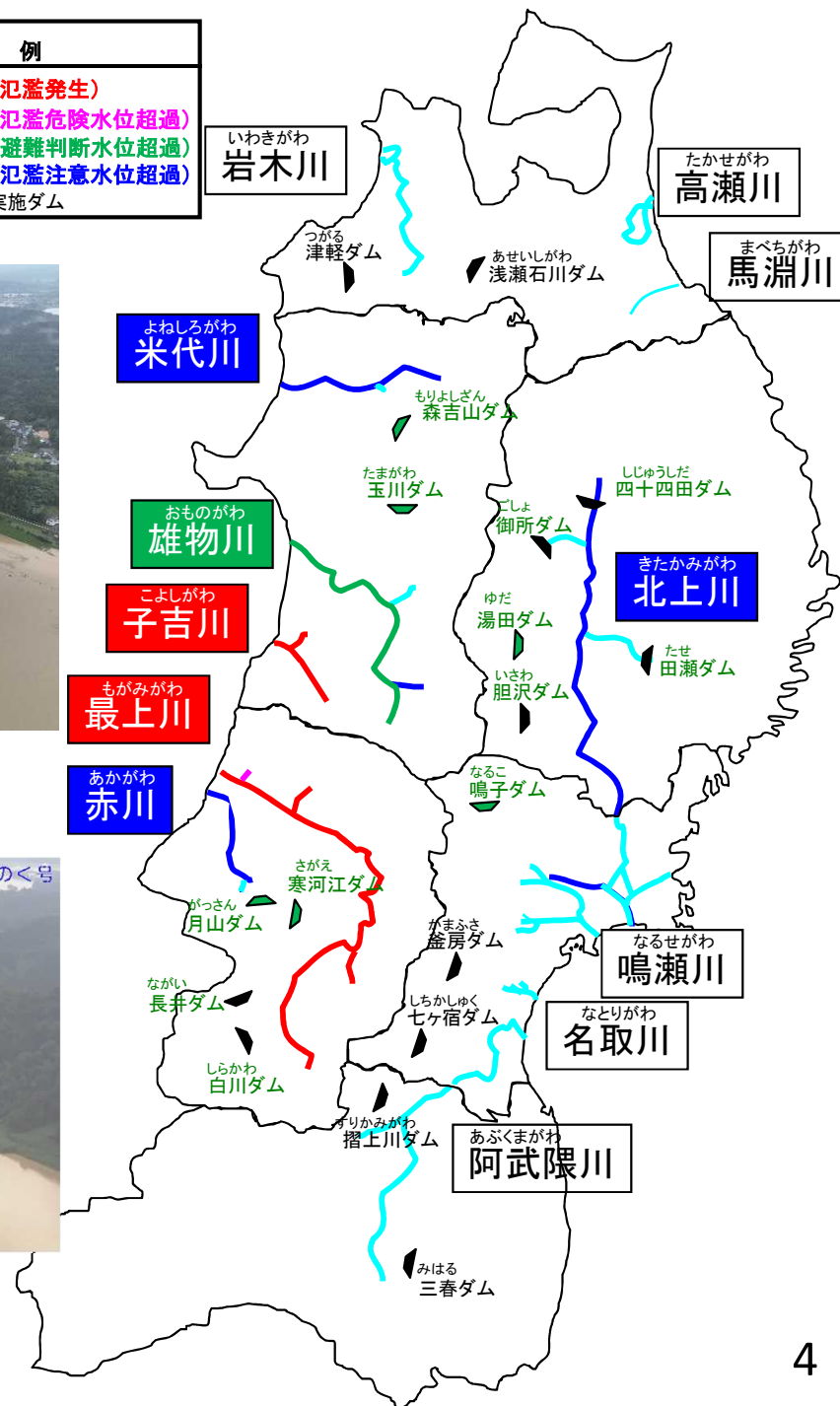
- 直轄6ダム(延べ9ダム)で洪水調節を実施
 - ・玉川ダム(雄物川水系)
 - ・森吉山ダム(米代川水系)、
 - ・月山ダム(赤川水系)
 - ・寒河江川ダム(最上川水系)
 - ・湯田ダム、鳴子ダム(北上川水系)
- 直轄1ダムで特別防災操作を実施
 - ・寒河江ダム



子吉川水系石沢川3.5K付近
(令和6年7月25日撮影)



最上川水系最上川44.5K付近
(令和6年7月26日撮影)

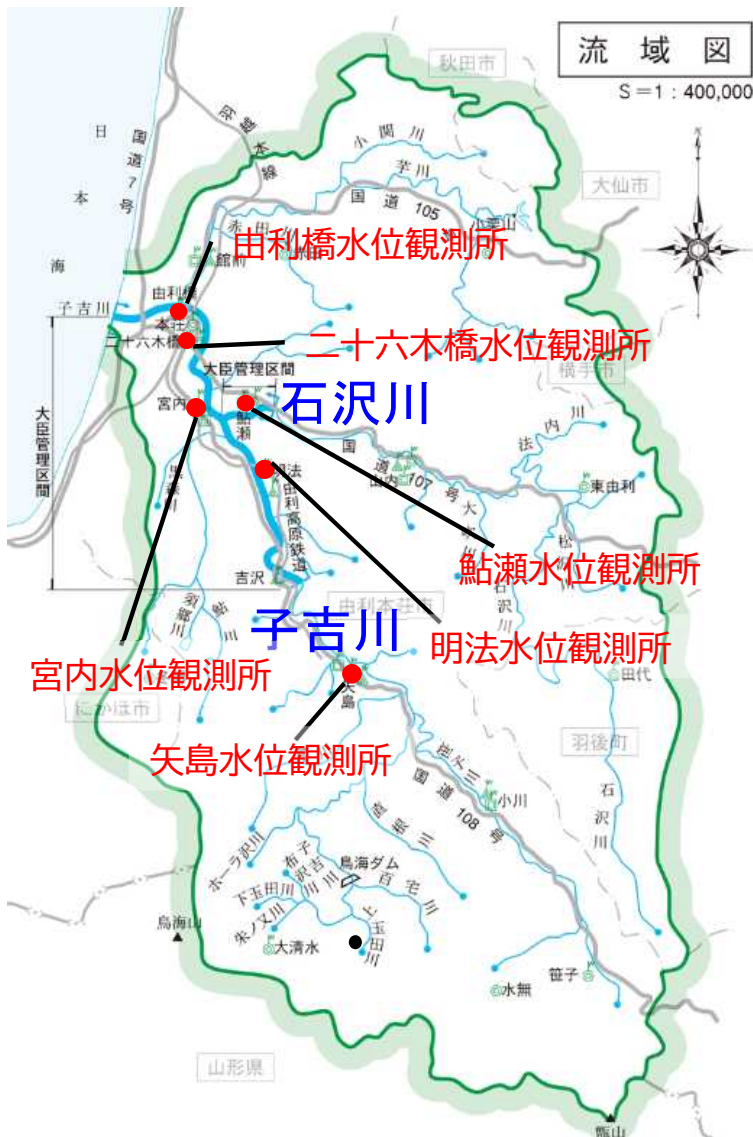


※速報値のため、今後変更となる場合があります。

令和6年7月25日からの大雨と既往洪水との水位比較

○子吉川の^{みょうほう やしま}明法・矢島水位観測所の2箇所で見つかる観測史上の最高水位を記録したほか、3箇所で見つかる計画高水位を超過。

子吉川水系子吉川



由利橋(由利本荘市) ゆりばし(ゆりほんじょう)		
順位	水位(m)	観測年
1	4.68	1980(S55)
2	4.46	2011(H23)
3	4.00	1972(S47)
4	3.82	2024(R6)
5	3.76	1984(S59)
6	3.60	1990(H2)
7	3.53	1975(S50)
8	3.50	1965(S40)
9	3.50	1993(H5)
10	3.40	1997(H9)

※ 氾濫危険水位(設定無し)
計画高水位(4.79m)

二十六木橋(由利本荘市) とどろきばし(ゆりほんじょう)		
順位	水位(m)	観測年
1	6.86	2011(H23)
2	6.40	1980(S55)
3	6.06	2024(R6)
4	5.78	1972(S47)
5	5.75	2013(H25)
6	5.63	1990(H2)
7	5.62	1987(S62)
8	5.49	1993(H5)
9	5.44	1997(H9)
10	5.44	2002(H14)

※ 氾濫危険水位(6.00m)
計画高水位(6.39m)

宮内(由利本荘市) みやうち(ゆりほんじょう)		
順位	水位(m)	観測年
1	9.05	2011(H23)
2	8.83	2024(R6)
3	8.35	1980(S55)
4	7.97	2013(H25)
5	7.55	1997(H9)
6	7.50	1990(H2)
7	7.46	2011(H23)
8	7.45	2007(H19)
9	7.41	2002(H14)
10	7.40	1975(S50)

※ 氾濫危険水位(設定無し)
計画高水位(8.37)

鮎瀬(由利本荘市) あゆせ(ゆりほんじょうし)		
順位	水位	発生年
1	6.41	2011(H23)
2	6.32	2024(R6)
3	5.26	1975(S50)
4	5.25	1972(S47)
5	5.22	1980(S55)
6	5.22	2019(R1)
7	5.16	2013(H25)
8	5.04	2011(H23)
9	4.93	2002(H14)
10	4.81	2007(H19)

※ 氾濫危険水位(4.50m)
計画高水位(5.79m)

明法(由利本荘市) みょうほう(ゆりほんじょう)		
順位	水位	発生年
1	6.32	2024(R6)
2	5.91	2011(H23)
3	5.30	1972(S47)
4	5.05	1980(S55)
5	5.02	2013(H25)
6	4.91	1997(H9)
7	4.83	2007(H19)
8	4.76	2009(H21)
9	4.75	1975(S50)
10	4.62	2011(H23)

※ 氾濫危険水位(4.70m)
計画高水位(5.75m)

矢島(由利本荘市) やしま(ゆりほんじょう)		
順位	水位(m)	観測年
1	6.92	2024(R6)
2	6.30	2011(H23)
3	6.24	1987(S62)
4	5.97	2011(H23)
5	5.96	2009(H21)
6	5.86	1997(H9)
7	5.64	2013(H25)
8	5.63	2005(H17)
9	5.61	2013(H25)
10	5.58	2007(H19)

※ 氾濫危険水位(設定無し)
計画高水位(設定無し)
毎正時データの整理

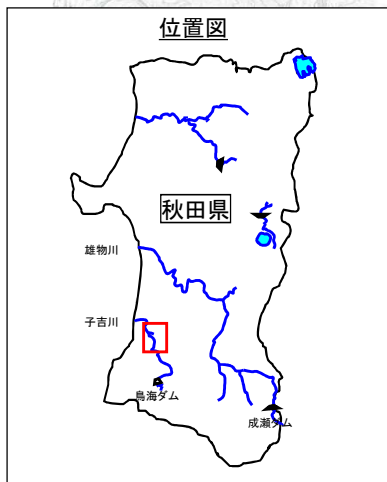
秋田県の被害状況

令和6年7月25日からの大雨による被害状況

こしがわ
(子吉川水系)

秋田

こしがわ 子吉川 被災箇所位置図



※8月20日15:00時点

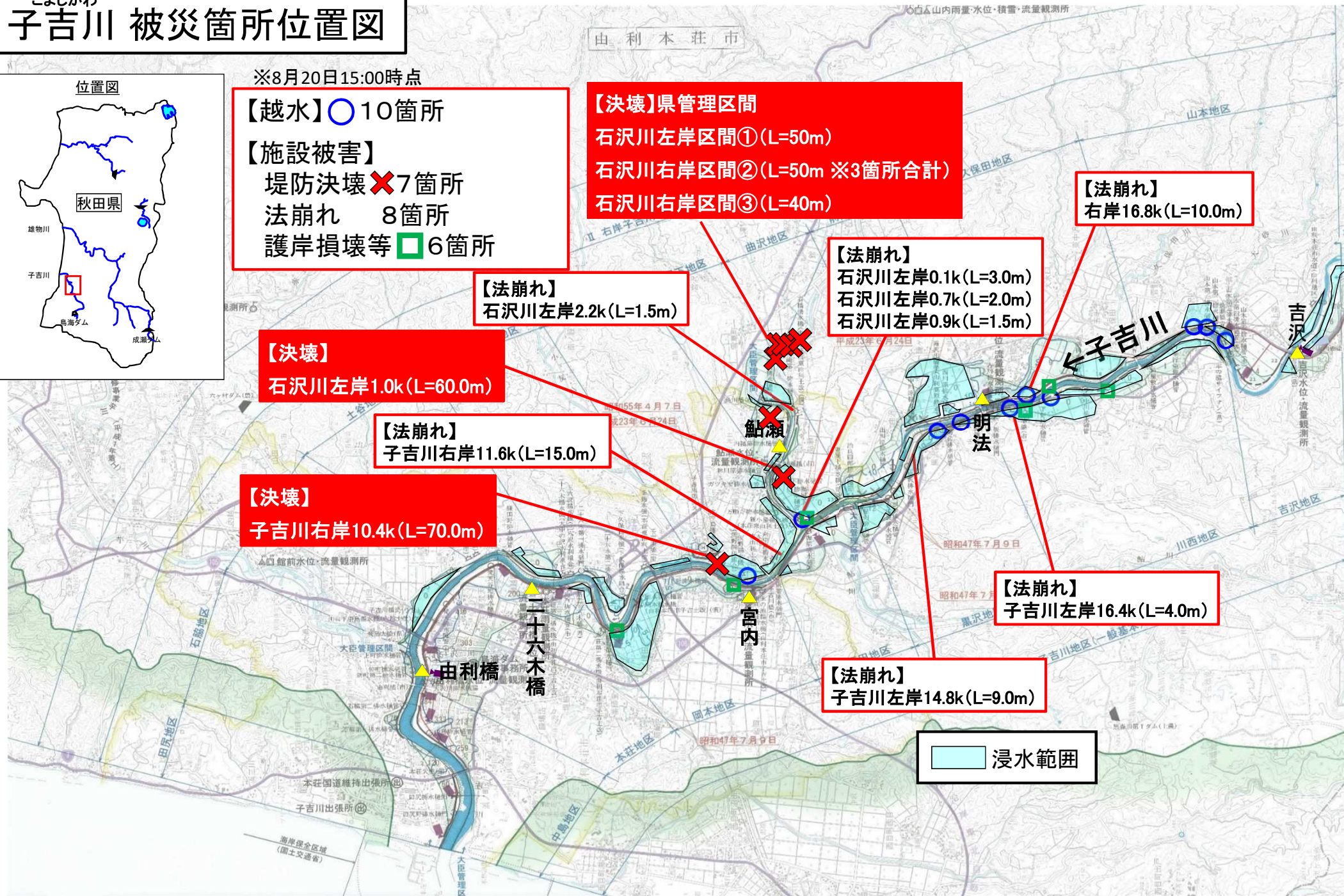
【越水】○10箇所

【施設被害】

堤防決壊 ✕ 7箇所

法崩れ 8箇所

護岸損壊等 □ 6箇所



令和6年7月25日からの大雨による被害状況

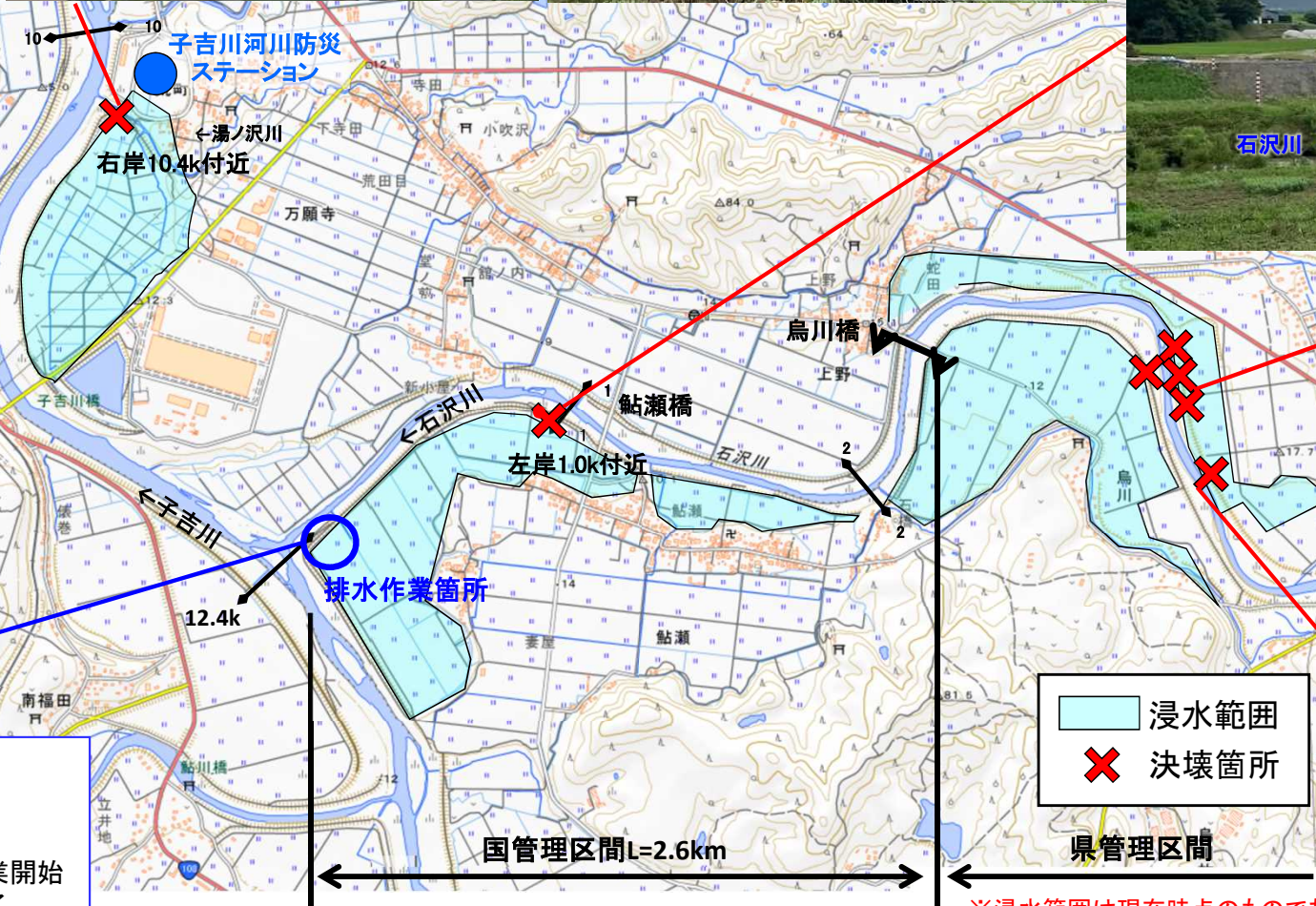
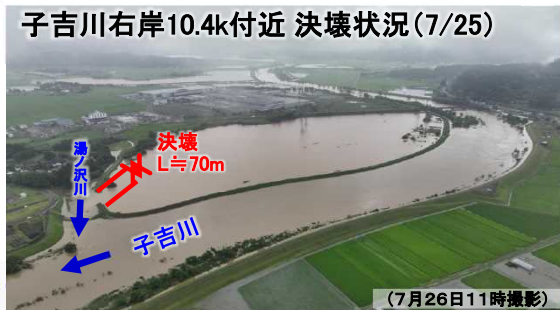
こしがわ
(子吉川堤防決壊の概要)

秋田

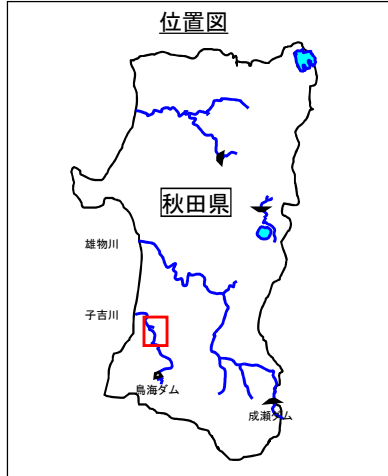
- 子吉川及び支川石沢川において、**7箇所**で堤防が決壊。
- このほか、子吉川及び石沢川で堤防の法崩れ、護岸損壊等が14箇所が発生。



【県管理】堤防決壊



※浸水範囲は現時点のものであり詳細は調査中



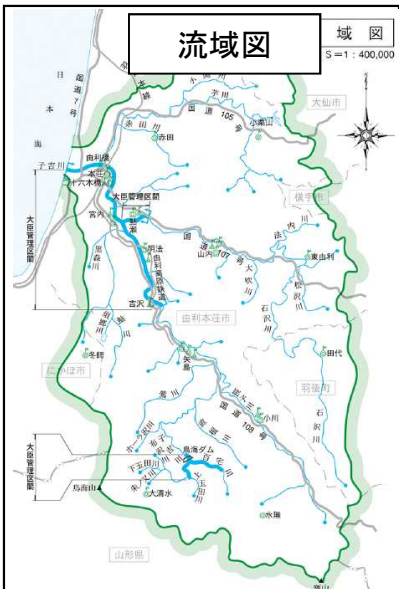
石沢川左岸排水状況[R6. 7. 26]

- 排水ポンプ車30m³ 3台
- 排水ポンプ車60m³ 1台
- 照明車 4台
- ⇒26日(金) 9:27 排水作業開始
- ⇒27日(土) 5:15 排水終了

堤防の緊急復旧工事の状況 (子吉川水系) こしがわ

8/6時点 **秋田**

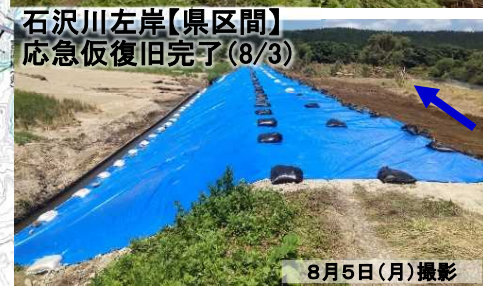
○**昼夜施工等**により、概ね**1週間**で仮堤防完了。



石沢川上流【県区間】
 7/25 着手
 8/4 完了
 <施工者>
 山勇建設工業(株)、山科建設(株)
 菊地建設(株)、村岡建設工業(株)

石沢川 左岸1.0km【国】
 7/26 10:00着手
 8/2 16:00完了
 <施工者> 山勇建設工業(株)

子吉川 右岸10.4km付近【国】
 7/26 16:00着手
 8/4 15:00完了
 <施工者> 村岡建設工業(株)
 (株)三浦組【西目】



こよしがわ いしがわがわ
子吉川水系石沢川左岸1.0k付近 緊急復旧工事 (国管理河川)

秋田

- 子吉川水系石沢川左岸1.0k付近(由利本荘市鮎瀬鮎瀬下地先)で、約60mにわたり堤防が決壊。
- 7月26日(金)10時より、「山勇建設工業(株)」が緊急復旧工事に着手。
- 昼夜施工による復旧作業により、8月2日(金)16時に緊急復旧工事完了。

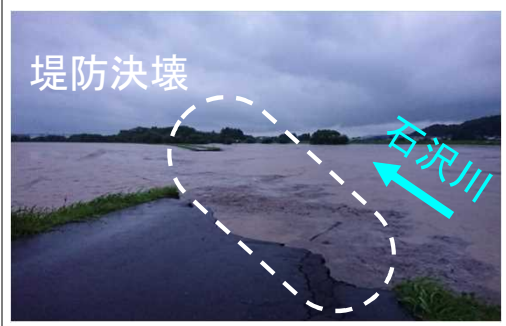
【復旧の経緯】

7/25(木) 2:10 被災発生
7/26(金) 10:00 工事着手
＜24時間施工＞
7日と6時間・延べ132人※
8/2(金) 16:00 復旧完了

※ 延べ人数……現場で工事作業に従事した
人員の積上げ数(発注側除く)

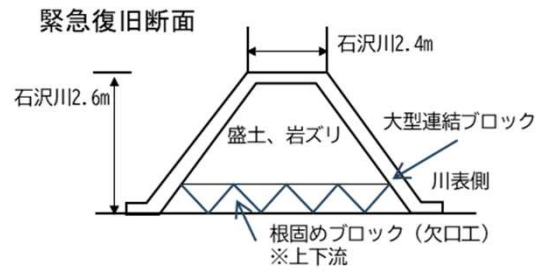
【被災の状況】

堤防が決壊



【復旧計画】

被災延長L=60m
荒締切盛土V=1,600m³
ブロックによる盛土被覆A=700m²
根固めブロックN=90個



浸水が残るなか、早期に着手



山勇建設工業(株) (秋田県建設業協会会員)による復旧状況



山勇建設工業(株)社長のコメント
「なんとか地域に恩返しできればという
思いで全力を尽くした。」

- 子吉川水系子吉川右岸10.4k付近 (由利本荘市荒町向中島地先) で、約70mにわたり堤防が決壊。
- 7月26日(金)16時より、「^{むらおか}村岡建設工業(株)、^{みうら}(株)三浦組[西目]」が緊急復旧工事に着手。
- 昼夜施工による復旧作業により、8月4日(日)15時に緊急復旧工事完了。

【復旧の経緯】

7/25(木)16:38 被災発生

7/26(金)16:00 工事着手

<24時間施工>

8日と23時間・延べ132人※

8/4(日)15:00 復旧完了

※ 延べ人数……現場で工事作業に従事した
人員の積上げ数(発注側除く)

【被災の状況】

堤防が決壊



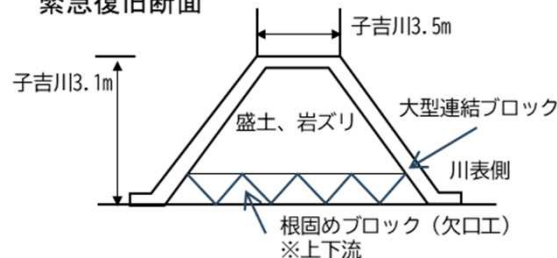
【復旧計画】

被災延長L=70m

荒締切盛土V=2,100m³

ブロックによる盛土被覆A=1,155m²

緊急復旧断面



地域のため、早期復旧を目指す



村岡建設工業(株)、(株)三浦組 [西目] (秋田県建設業協会会員)による復旧状況



猛暑の中作業を実施



昼夜問わずの作業

・村岡建設工業(株)社長のコメント
「地元を洪水から守るため、1時間でも早くという
思いで工事に取り組んだ。」
・(株)三浦組社長のコメント
「地域の有事に力を合わせて復旧することができ
た。」



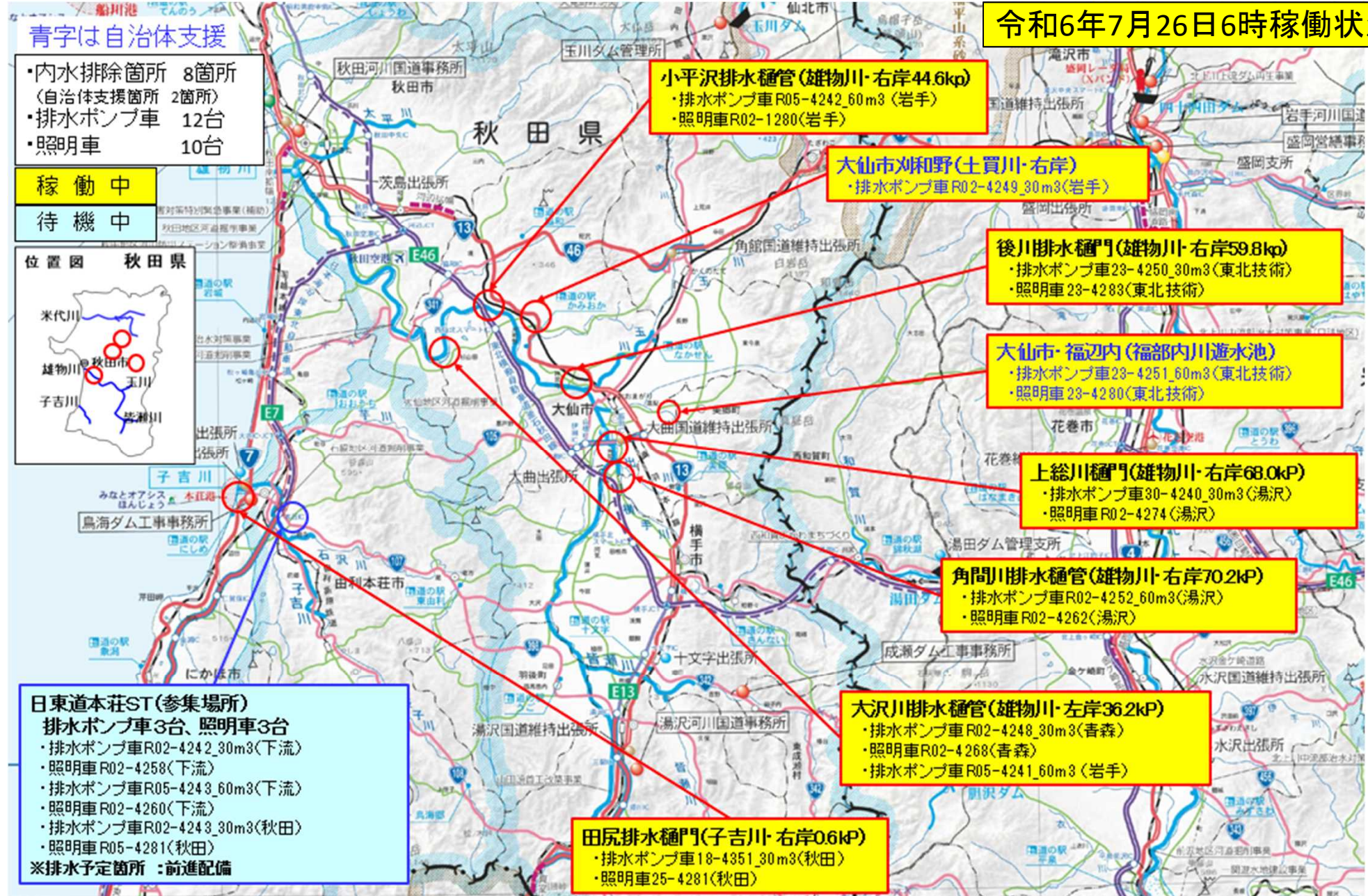
緊急復旧完了

災害対策車稼働状況等位置図(秋田県内)

7/26時点 **秋田**

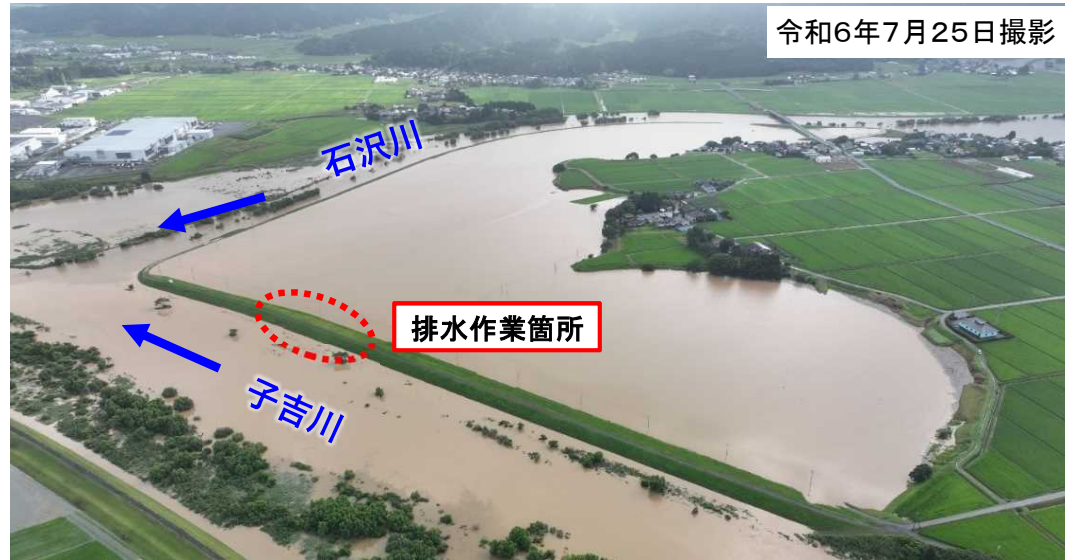
- 秋田県内に最大で排水ポンプ車14台、照明車10台を配備。
- 令和6年7月26日6時時点で、排水ポンプ車9台、照明車7台稼働。

令和6年7月26日6時稼働状況



排水ポンプ車による排水活動状況(子吉川水系) こよしがわ

- 子吉川水系の浸水箇所へ排水ポンプ車4台(延べ9台・日)を派遣し、約16万m³の排水作業を実施。
- 由利本荘市鮎瀬地区では、現地で約20時間にわたる排水作業を実施し、浸水の早期解消に効果を発揮。



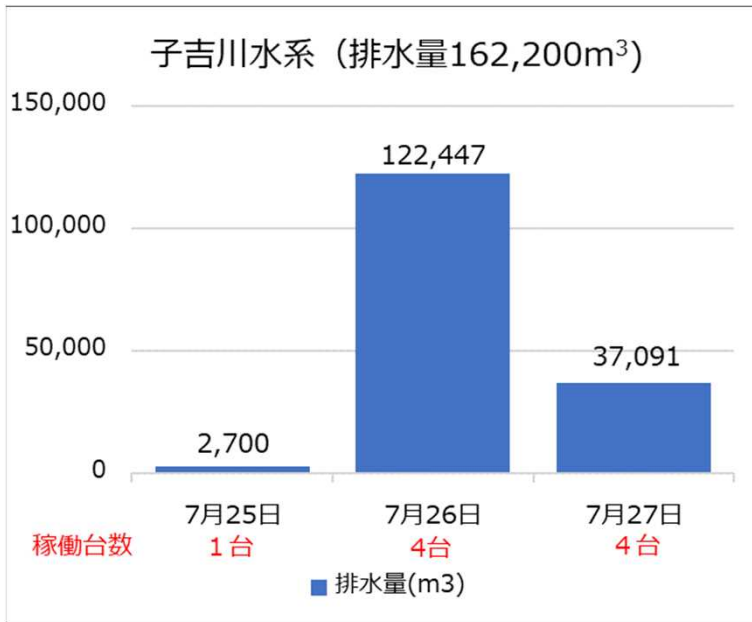
令和6年7月25日撮影



令和6年7月27日撮影

子吉川右岸12.4k付近(由利本荘市鮎瀬地区)における浸水状況

子吉川右岸12.4k付近(由利本荘市鮎瀬地区)における排水状況



令和6年7月26日撮影



令和6年7月26日撮影

子吉川右岸12.4k付近(由利本荘市鮎瀬地区)における排水作業状況
(作業:(株)大沼組、丸か建設(株)、(株)佐藤工務店)

各種取組状況

第1回子吉川堤防調査委員会を開催

- 被災原因を究明し、本復旧に活かすことを目的として、7月27日(土)に「第1回子吉川堤防調査委員会」を開催。
- **第1回は、委員及び国・県の担当者が合同で堤防決壊箇所の現地調査を行い、被災状況の把握及び被災要因分析等に必要な調査・検討内容などについて意見交換。**

(堤防調査委員会 委員)

	氏名	所属
委員長	松富 英夫	秋田大学 名誉教授
委員	風間 聡	東北大学大学院工学研究科 教授
委員	山田 正太郎	東北大学大学院工学研究科 教授
委員	瀬崎 智之	国土技術政策総合研究所 河川研究部 河川研究室長
委員	石原 雅規	国立研究開発法人 土木研究所 地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム上席研究員



国管理区間

現地調査状況
(子吉川右岸10.4k付近)



国管理区間

現地調査状況
(支川石沢川左岸1.0k付近)



県管理区間

現地調査状況
(支川石沢川右岸3.4k付近)



意見交換状況

河川防災ステーション 災害への備えの効果

- 子吉川水系子吉川・石沢川、最上川水系鮭川の緊急復旧工事では、堤防の復旧盛土、大型連節ブロックによる被覆を実施。
- 復旧は「河川防災ステーション」に有事に備えて備蓄しているブロックを使用したことにより、迅速な工事着手が図られ、概ね1週間で応急工事を完了することができた。

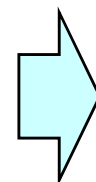
子吉川水系「子吉川河川防災ステーション」

備蓄資材(ブロック)

- ・根固ブロック約900個
- ・大型連節ブロック約1,500個



【運び出したブロック】(被災箇所までの運搬距離)
・石沢川:大型連節ブロック 520個 (L=2.5km)
・子吉川:大型連節ブロック 573個 (L=0.1km)



**ブロックの調達期間を短縮
迅速な工事着手に寄与**

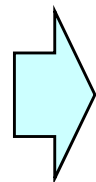
最上川水系「真室川防災ステーション」

備蓄資材(ブロック)

- ・根固ブロック約1,500
- ・大型連節ブロック約1,800個



【運び出したブロック】(被災箇所までの運搬距離)
・鮭川: 大型連節ブロック 564個 (L=13.0km)



〈河川防災ステーション〉 出水時や地震時等の防災活動の拠点となる河川管理施設で、避難場所、資機材・物資輸送の基地、ヘリポートなど、災害が発生した際に迅速な復旧を行うための基地。(R4年度末時点で全国で146カ所整備)

地域の建設業等による迅速な対応 (子吉川水系子吉川)

- 大雨による被害を未然に回避するため、地域の建設業による迅速な水防活動を実施。
- 被災後、いち早く被災状況の把握調査を行うため、地域の建設コンサルタントが従事。



堤防の崩壊を防ぐシート張り工法の実施(施工:(株)大沼組)



ドローンによる被災調査(調査:(株)ウヌマ地域総研) 17

地域の建設業等による迅速な対応④ (雄物川水系雄物川・子吉川水系石沢川)

○大雨により浸水した秋田県内各地において、**地域の建設業が、昼夜を問わず排水ポンプ車による排水を実施。**



排水ポンプ作業状況



排水ポンプ車作業状況




排水ポンプ作業状況



排水ポンプ作業状況

堤防決壊後の速やかな基準水位の見直しによる洪水予警報等発表体制の構築

- 堤防決壊が発生した子吉川水系子吉川、石沢川において、堤防が復旧するまでの暫定基準水位を設定し、新たな洪水時の防災情報に関わる洪水予警報等の発表が出来るよう速やかに対応した。
- 堤防決壊箇所の緊急復旧工事が完了したことから、8月5日(月)16時をもって、暫定基準水位による運用を終了し、基準水位を元に戻した。



令和6年7月28日
秋田河川国道事務所
秋田地方気象台

令和6年7月25日からの大雨に伴う子吉川及び支川石沢川の洪水予報等・水防警報の暫定基準の運用について
～7月28日13:00から暫定基準水位を設定～

令和6年7月25日からの大雨による出水により、秋田県由利本荘市荒町地先の子吉川及び同市鮎瀬下地先の石沢川の堤防が決壊しました。

このため、子吉川の二十六木橋水位観測所(由利本荘市下大野)及び支川石沢川鮎瀬水位観測所(由利本荘市鮎瀬)について、国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所と秋田地方気象台が共同で発表している子吉川洪水予報及び国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所が発表している石沢川水位到達情報、水防警報の発表基準について、堤防の決壊による被災状況を考慮し、令和6年7月28日13:00から当面の間、別紙1及び2のとおり新たに設定した水位の暫定基準にて、洪水予報等及び水防警報を発表します。

大雨時には、河川の水位が急に上昇する場合がありますので、雨量や水位等の防災情報には注意してください。

<<発表記者会：秋田県政記者クラブ>>

【問い合わせ先】
 秋田河川国道事務所 副所長(河川) 成田 正喜 電話 018-823-4167
 秋田地方気象台 防災管理官 佐々木勇樹 電話 018-864-3955

